

政策名	4環境にやさしい港		担当課	企画調整室 環境担当課長	連携担当課 (港営部)海務課 (建設部)港湾工事事務所、 工事課
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり				
個別施策名	17良好な港湾空間を維持・創出する		連絡先	052-654-7819	
事務事業名	07港内の水底質のモニタリング				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	港内の水質・底質を調査し、港湾水域の環境の現況を把握します。	事業期間	昭和38年度～継続
概要	水域の水および水底土砂の調査を実施します。	根拠法令・要綱等	港則法、水質汚濁防止法、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	・平成21年度は、公共用水域水質測定調査24回、底層溶存酸素調査12回、大江川・7～8号地間運河4回、中川運河水質調査9回、南5区環境影響基礎調査2回を実施。 ・平成22年度は、委託調査として、(公共用水域水質測定調査24回、底層溶存酸素調査12回、大江川・7～8号地間運河4回、港内底質調査を年間3回実施予定。)他に中川運河水質調査12回を実施予定。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
調査回数	単位	目標	53	53	53	55	55	測定計画等に定められている調査回数
	回	実績	53	53	51			
事業費	単位	目標						
		実績						
人員 正規職員	単位	千円	0	0	0	9,765		
		人	2.45	2.45	2.45	0.43		
人員 嘱託職員	単位	千円	21,278	21,487	21,026	3,775		
		人						
事業費・人件費の合計		千円	21,278	21,487	21,026	13,540		

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
測定計画等に基づく調査の履行率	単位	目標	100	100	100	100	100	実際に行った調査回数÷測定計画等に定められている調査回数
	%	実績	100	100	96.2			
	達成率(%)		100.0	100.0	96.2			
観点	単位	目標						現状の「見える化」
		実績						
	達成率(%)							
必要性	組合関与の必要性	(有)・無	・公共用水域水質調査については、水質汚濁防止法からみて県及び市が行うことが、適正であることから本組合の関与すべき必要性が薄れてきています。					その他特記事項
	目的・水準の妥当性	有・(無)						
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)						
有効性	成果の達成度	有・(無)	・21年度の調査の履行率は96.2%であるが、南5区環境基礎調査の調査回数4回が2回で終了となったためであり、目標は達成されています。					
	内容の妥当性	(有)・無	・公共用水域水質調査は、県と実施内容について見直しの必要性が生じています。					
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)	・内容の見直しの余地が生じています。					
	受益者負担の適正性	有・(無)						
	経済性	(有)・無						

### 4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大 維持 縮小	○	縮小	維持	拡大	公共用水域水質調査は、事務改善を行い、コスト削減に努めていくため。
			コスト				
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	公共用水域水質調査の内容を見直すことで、コスト削減に努めていきます。						